

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 49

学校名・団体名	白川町立佐見小学校
HPアドレス	http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	へき地小規模校が伝統文化の継承と表現力の育成に挑む活動の活性化
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>歌舞伎小屋の倒壊により佐見地域から一時衰退した地歌舞伎が平成3年に復活した。この活動を学校教育に取り入れ、歌舞伎のおもしろさを小学生に味わわせることで将来の継承者を育てていくために平成23年から5,6年生が総合学習の時間の活動で歌舞伎に取り組んできた。このほか、地域の神社で継承されている獅子神楽、地域の有志で活動が始まった郷蔵太鼓には3,4年生が取り組んでいる。このような取り組みがふるさとを愛する心と豊かな表現力を育成することになると考える。</p>	

1. 伝承活動の取組

・歌舞伎や太鼓、獅子神楽の練習をiPadを活用して撮影し、それを大型テレビに映して再生し、自分や仲間の演技、演奏の動きを見て改善点を確認してくり返し練習した。スローモーション再生なども自分たちで行って動きの詳細を確認した。また、講師の動きや昨年度の発表の様子などもそれを再生しながらくり返し練習することができた。小学生にとって自分の動きを客観的にとらえる事が難しいので撮影した映像をすぐ確認することはとても有効であった。また模範となる演技をくり返し見ることとても有効であった。佐見歌舞伎公演・佐見夏祭り・かがやき発表会ではそれぞれが生き生きと表現し、大きな拍手をもらうことができた。ふるさとを愛する心と自己表現力を育成することに大いに活用することができた。



佐見歌舞伎公演



佐見夏祭り



かがやき発表会

- ・佐見夏祭りへの取組 6月~7月 講師による指導を受け、8月14日の夏祭りで発表
- ・佐見歌舞伎への取組 9月~11月 佐見歌舞伎の指導者である師匠の演技指導を受け、11月25、26日に行われた佐見歌舞伎公演で発表

2. 発表会での活用 (発表会2月24日)

・かがやき発表会では、児童が一年間がんばってきたことの中から特に伝えたいことを発表した。過去の行事の姿や一輪車、縄跳びなどの運動の成果を取り上げた児童はICT機器を活用し行事の動画映像や自分ができるようになった姿を動画で撮影し、大型テレビで示しながら発表することができた。自分の輝いた姿を映像と言葉でつたえられ児童の発表意欲も高まった。また参観した保護者や地域の方にもよく伝わり、好評であった。

3. その他の活用

- ・その他冬場は音楽室で集会を行うことが何度かあり、各学年の発表や委員会の発表、全校への投げかけなどをICT機器を活用して行うことができた。保健委員会による手洗いうがいの呼びかけでは動画や画像をテレビに映して示すことにより、具体的で低学年にも分かりやすい投げかけとなり、児童の意欲喚起につなげることができた。
- ・高学年は、パソコン室を利用して発表内容のプレゼンを作る。作成したプレゼンはiPadに取り込み、当日は大型テレビを活用して発表を行った。



歌舞伎や太鼓、獅子神楽などの練習においては、演技や演奏の状態を客観的に見ることで指導者による指導内容を具体的に理解でき、練習意欲の向上につながった。また、かがやき発表会、学級発表、委員会発表においても短い発表時間の中で効果的に伝えることができた。発表の手段としてICT機器を使うことが児童の意欲化につながり、成果を生き生きと発表することは保護者や地域の大きな喜びにもなった。保護者や地域の賞賛の声が児童に伝わり、さらによいものを発表しようという気持ちを持つことができた。それが今後もさらに児童の表現力を高めることにつながっていくと考えられる。